

日本天文学会2010年 春季年会のお知らせ

2010年春季年会は、2010年3月24日(水)から3月27日(土)までの4日間、広島大学(広島県東広島市)にて開催されます。プログラムや交通案内等は、天文月報の第103巻3月号(2010年2月20日発行)に掲載予定です。

(1) 料金表

項目	会 員	非会員	
参 加 費	3,000 円 (不課税) (但し会員で講演ありの場合、参加費は無料)	5,000 円 (消費税込み)	
講演登録費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)	(1講演につき)
年会予稿集	1,000 円 (消費税込み)	1,000 円 (消費税込み)	

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※講演登録者は、講演申込み後にキャンセル等しても会期終了までに講演登録費を支払う必要があります。

※講演申込時には非会員の方で、会員として年会に参加を希望される方は、2010年2月末までに必ず入会の手続きを済ませ、年会実行委員会にご連絡ください。

(2) 受付期間および連絡先

事 項		受付期間・期限	送付先・連絡先等	関連項目
講演申込	(郵 送)	2009年12月14日(月) 必着	日本天文学会年会係	(3) (4) (5) (6)
	(電子メール)	2009年12月8日(火) 正午から 2009年12月15日(火) 正午まで (注1)	年会Webページでアナウンス	
複数講演の順序指定		2009年12月24日(木) 正午まで	年会実行委員会	(7)
ポストデッドライン・ペーパー		2010年3月11日(木)正午まで	年会実行委員会	(8)
最新情報コーナー		年会会期中まで	年会実行委員会	(9)
保育室の利用申込		2010年3月1日(月)正午まで	年会実行委員(保育室担当)	(10)
講演の変更など		分かった時点ですぐに	年会実行委員会	(11)
各種の会合申込		2010年3月1日(月)正午まで (注2)	年会実行委員会	(12)
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦		2009年12月1日(火) 正午まで	年会実行委員会	(13)
懇親会の会期前申込		2010年3月11日(木) 正午まで	「(14)懇親会と参加申し込みについて」参照	
旅費一部補助		2010年1月20日(水) 必着	本号「旅費補助について」参照	
ジュニアセッション講演申込		2010年2月4日(木) 必着	本号「ジュニアセッションのお知らせ」参照	

(注1) 電子メールの自動受付は12月16日(水) 午前9時まで行いますが、12月15日(火)正午以降はトラブルへの対応は一切いたしませんので、原則として12月15日(火) 正午までに投稿してください。

(注2) 2009年12月24日(木) 正午までに申し込みをいただいた会合は、年会予稿集、天文月報に案内を掲載します。特に、一般の参加者に開かれた会合については、積極的に掲載して周知してください。

連絡先

◆年会実行委員会 委員長 本間希樹 (年会理事・国立天文台)
e-mail: committee2010@nenkai.asj.or.jp 電話: 0422-34-3640 FAX: 0422-34-3814

◆日本天文学会年会係 長谷川直子
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係
e-mail: committee2010@nenkai.asj.or.jp 電話: 0422-31-5488 FAX: 0422-31-5487

◆年会開催地理事 小畠康史 (広島大学)
〒739-8526 広島県東広島市鏡山1-3-1 広島大学大学院理学研究科
e-mail: kojima@theo.phys.sci.hiroshima-u.ac.jp 電話: 082-424-7365 FAX: 082-424-0717

年会開催期間(2010年3月24日～27日)の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

年会のWebページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/>

(3) 分野と「企画セッション」

- ・ 講演分野は次の18分野です。
J.高密度星, K.超新星爆発, L.太陽系, M.太陽, N.恒星, P1.星形成, P2.系外惑星, Q.星間現象, R.銀河, S.活動銀河核, T.銀河団, U.宇宙論, V1.地上観測機器(電波), V2.地上観測機器(その他), W1.飛翔体観測機器(X線・γ線), W2.飛翔体観測機器(その他), X.銀河形成, Y.天文教育・その他
- ・ 「企画セッション」は次の2件です。
A. 「Fermiガンマ線宇宙望遠鏡がひらく高エネルギー宇宙物理学」(略称:Fermi)
世話人: 深沢泰司(広島大), 河合誠之(東工大), 水野恒史, 山崎 了(広島大)
B. 「TMTで拓く新しい天文学」(略称:TMT)
世話人: 家 正則, 高見英樹, 山下卓也, 白田知史, 柏川伸成(国立天文台)
- ・ 企画セッションは, 世話人から依頼される講演と通常の講演, 議論の時間などから構成され, その割り振りは世話人が決めます。講演者は世話人に対して講演申込みを行います。tennetなどに流れる世話人からのアナウンスに注意し, 講演申込みの際には世話人からの指示に従ってください。

(4) キーワード

- ・ 分野のあとにキーワードを記入してください。プログラム編成の参考にします。
- ・ 観測機器分野(地上・飛翔体)で, 関連の深いプロジェクト名・衛星計画名などがあれば記入してください。
- ・ 特に下の分野では「推奨キーワード」の中からも選び, それらをキーワード欄の先頭に入れてください。

◎ 推奨キーワード

高密度星	: 白色矮星, 中性子星, ブラックホール, 新星, X線星, GRB, 降着円盤, MHD, ジェット, 連星進化
超新星爆発	: 重力崩壊, ニュートリノ, 衝撃波, 元素合成, 光度曲線, 超新星残骸
太陽	: 太陽内部, 光球, 彩層, 活動領域, プロミネンス, フレア, コロナ, CME, 太陽風
恒星	: 主系列星, 褐色矮星, 質量放出, ダスト, 惑星状星雲, 元素合成, メーザー, 恒星進化, 脈動
銀河	: 近傍銀河, 銀河系, 球状星団, 矮小銀河
銀河形成	: 銀河進化, 化学進化
地上観測機器	: 電波, 赤外線, 可視光, 重力波, 高エネルギーγ線, 宇宙線
飛翔体観測機器	: 電波, 赤外線, 可視光, X線, γ線, 重力波

(5) 講演の形式

- ・ (a)口頭講演(9分間の口頭発表と3分間の質疑応答); (b)ポスター講演・口頭発表付き(ポスターと3分間の口頭発表); (c)ポスター講演・口頭発表無し(ポスターのみ)の3種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。
- ・ 講演者1人あたり可能な講演数は最大3件までです。また, (a)講演は1人1講演までで, 3件目の講演は(c)講演(ポスターのみ)に限ります。
- ・ 口頭発表用にプロジェクタおよび書画カメラを用意します。ただし, 書画カメラを使用する場合は, 講演申込時に申し出てください。プロジェクタに接続するパソコンはご自分でご用意ください。
- ・ ポスター1枚あたりのボードの大きさは, プログラムに掲載します。(通常は縦180cm, 横90cmです。)

(6) 講演の申し込み方法

◆ 郵送による申し込みの場合

- ・ 規定の原稿用紙に記入し, 封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上, 日本天文学会年会係までお送りください。
- ・ 規定の原稿用紙は必要枚数と送付先を明記の上, e-mailまたはFAXで天文学会年会係まで請求してください。

◆ 電子メールによる申し込みの場合

- ・ 年会のWebページに掲載します。

※講演は完成度の高いものに限ります。予稿の紙面を有効利用してください。予稿集は広範な読者が読むことを想定し, (i)十分な背景説明を行うこと, (ii)研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること, の2点を心がけてください。これらに留意すれば, 大抵は10行以上の予稿になるはずですが, 以上のような配慮に欠ける極端に短い予稿など不適切な講演申し込みは, 受理しない場合があります。

※予稿集は事前配布となっており, 2010年2月20日付で発行する予定です。年会のwebページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもあります。出版前の論文, 特許に関係した論文等の講演をする際などは, 十分ご注意願います。

◆注意：講演者は氏名の欄で○をつけてください(必ずしも筆頭著者でなくても結構です)。講演登録費はこの講演者が支払ってください。

(7) 複数講演の順序指定

・グループ等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申込み後、期限内に下記1, 2を明記し、年会実行委員会宛にご連絡下さい。

1. 受付番号(分野, 発表形式を含む番号), 2. 講演者名

(b)講演は3つ一括りが原則です。3つに満たない場合は、最初か最後に並べて下さい。また、ご希望に沿えない場合もありますのでご承知おきください。なお、講演日時に関する要望は一切受け付けられません。

(8) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

・PDLは、緊急性・トピックス性に富んだものに限り、約半年後の次の年会まで待つことができない明確な理由(個人的理由は不可)が必要です。通常の申込みよりも受理の基準がかなり厳しくなります。

・年会の申込み締切後、3月11日(木)正午まで受け付けます。上記の理由を添えて予稿原稿を年会実行委員会宛に送付してください。

・PDLの講演方法は、(b)ポスター講演・口頭発表付き(ポスターと3分間の口頭発表)、または(c)ポスター講演・口頭発表無し(ポスターのみ)です。ただし、プログラムに余裕がない場合は(c)講演になります。

(9) 最新情報コーナー

・最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、PDLより緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等にも掲載されません。発表の形式はポスターのみです。スペースが無くなれば、受け付けを終了します。

(10) 天文学会会期中の保育室

・保育室を設置する予定です。詳細は年会のWebページに掲載しています。不明な点は年会実行委員(保育室担当)へe-mail(hoiku2010@nenkai.asj.or.jp)でお問い合わせください。

(11) 講演のキャンセルや変更

・やむを得ず講演をキャンセルしたり、講演者を変更する場合は、その理由を添えて速やかに年会実行委員会まで連絡してください。ただし、講演のキャンセルは極力避け、可能な限り代理講演者を立ててください。

(12) 年会時の各種会合

・会合などのために会議室や講演会場などを使用したい場合には、年会実行委員会までご連絡ください。会合が開けるのは、セッション等が行われていない時間帯(昼休み)に限ります。

・申し込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、予めご了承ください。

・2009年12月24日(木)正午までに申し込みをいただいた会合は、年会予稿集、天文月報に案内を掲載します。特に、一般の参加者に開かれた会合については、積極的に掲載して周知してください。

(13) 特別セッション・特別講演・招待講演

・多くの会員が関心を持つ話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則として同時に他のセッション等を行いません。また、多くの会員が興味を持つテーマについて講師を依頼する「招待講演」や「特別講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員会までご相談ください。

(14) 懇親会と参加申し込みについて

・懇親会は、3日目(3月26日)夜に広島大学生協食堂にて開催予定です。会費は、天文学会員かどうかにかかわらず、会期前申込みの場合は一般5,000円、学生3,000円、年会当日申込みの場合は一般5,500円、学生3,500円の予定です。ただし当日券は枚数を限定し、なくなり次第販売を終了する予定です。

・会期前申込みの締切りは3月11日(木)必着です。後日tennetでお知らせするWebページからか、ハガキで申込んでください。ハガキの場合は、氏名、連絡先(できればe-mailアドレスも)、一般/学生の区分を明記して、年会開催地理事宛にお送りください。

・懇親会の開催準備のため、参加者数を早めに把握する必要があります。懇親会に参加希望の方は、出来るだけ会期前申込みをご利用ください。

本間希樹(年会実行委員長)